

第18回ジョイントシンポジウム

流域から沿岸までの土砂動態が生物生息環境に 及ぼす影響を考える

- 陸域からの海域への土砂供給変化に着目して -

主 催

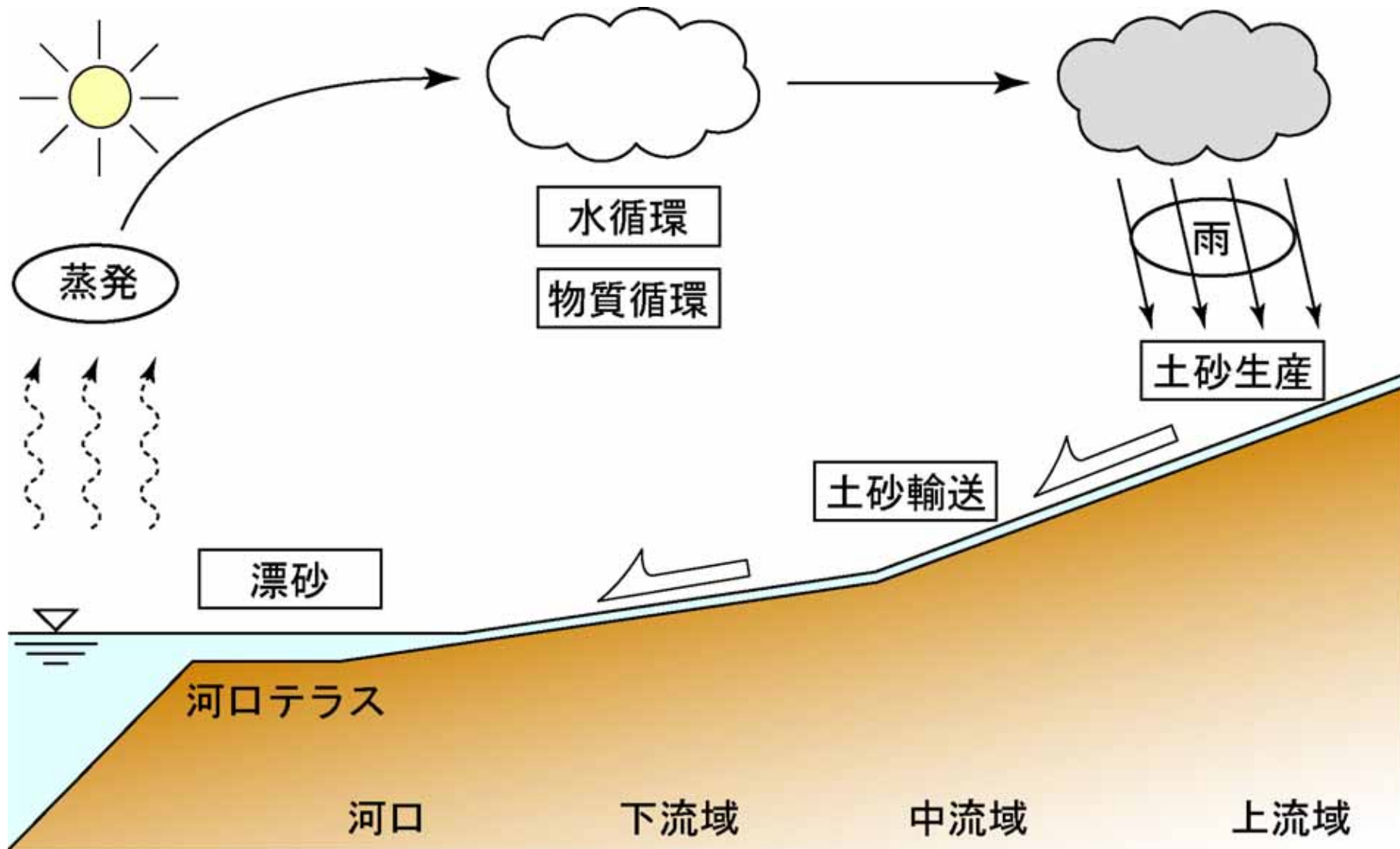
沿岸環境関連学会連絡協議会

土木学会水工学委員会 / 土木学会海岸工学委員会 / 応用生態工学会
/ 日本水産学会水産環境保全委員会 / 日本海洋学会環境問題委員会
/ 日本水産工学会物質循環研究会 / 日本水産海洋学会
/ 日本船舶海洋工学会海洋環境研究会

趣旨説明

担 当

土木学会水工学委員会 / 海岸工学委員会
/ 応用生態工学会



注)川ごとに異なる!

砂利採取

河川改修

ダム建設

社会資本整備

雇用創出

洪水低減

渇水低減

利水

電力獲得

開放性海岸:浸食、貧栄養化

閉鎖性海域:エстуアリー-循環、種の変化、?

一次生産
付着藻類 プランクトン

水質悪化(水温、DO等)

流量平滑化

堆砂

河床上昇

海岸浸食

土砂供給減少

河口粒径変化

魚類変化

河口テラス消失

河床低下

アーマ化

研究課題の発掘を!

樹林化

細粒土砂の堆積

濁水長期化

付着藻類の変化

海岸管理

河川管理

ダム管理

行政

海岸工学 / 水産学
/ 海洋学

河川工学 / 応用生態工学

湖沼学 / 森林学
/ 水文学

視点

市民

NPO

漁民

行政

民間

組織



最近の動き

応用生態工学会:

特集「ダム構造物の影響」1999.11

水産学会:

研究会「河川流量、流入土砂および水質変化にともなう沿岸生態系の応答」2003.12

日本水産学会誌「河川管理ーダムと水産」2007・1

土木学会水工学委員会:

水シンポin仙台「次世代に残すみやぎの川のかたち～清流と流砂の回復～」2006.8

シンポジウム「貯水池土砂管理の現状と将来」2006・12・1

土木学会エネルギー土木委員会

「ダム貯水池堆砂・濁水問題への取り組みと課題」2001.7

天然アユ保全ネットワーク(矢作川、物部川、天竜川漁協):

「天然アユを増やすと決めた漁協のシンポジウム」2006.11.18

PART1 流域土砂管理の課題(ダム堆砂を中心に)

「土砂動態の変化が沿岸を含む流域環境に及ぼす影響」

藤田光一(国総研)

「ダムの目的とその管理とは？」

天野邦彦(土研)

PART2 ダム堆砂と下流河川及び沿岸海域の環境との関係

「三春ダムにおける土砂還元と底生動物の変遷」 矢沢 賢一(三春ダム管理事務所)

「神通川と庄川におけるダム堆砂放流の河川漁業への影響」 田子泰彦(富山水試)

「黒部川連携排砂による河川・沿岸域を含む流砂系への環境影響」 角 哲也(京大)

「天竜川における堆砂放流と遠州灘海岸侵食対策の連携に向けて」

青木伸 一(豊橋技科大)

PART3 土砂動態及び底質環境の変化が生物環境に及ぼす影響

「筑後川感潮域における土砂動態の変化」

横山勝英(首都大学東京)

「有明海における底質環境の変化が貝類(タイラギ)に及ぼす影響」

伊藤史郎(佐賀県水産課)

「人為的な底質改善によるベントスの応答(ダム堆砂を用いた干潟造成)」

石田基雄(愛知県水試)

「ダム建設が沿岸環境に及ぼす影響 - ナイル川の事例 - 」 小松輝久(東大海洋研)

PART4 総合討論

開会挨拶

竹門康弘(京大防災研)

総合討論のテーマ

ダム建設や砂利採取によって、沿岸までの流域生態系に何が起こったかを客観的・科学的に検証する。

- 生態系に何が起こり、科学的に何が分かって、何がわからないのか(予測を含め) -

流域生態系修復・再生に向けてのアクションプラン(短期的から中長期的目標及びアクションプラン)

- 100年先の目標に向け、今何をすべきか + 合意形成をどう図るか -

[タイムテーブル]

15:30 - 15:45 講演全体に対して、会場からの質問・コメント。

15:45 - 16:30 テーマ

15:45-15:55 (話題提供)「(仮題)付着藻類の変化に見る河川生態系の変化」

戸田祐司(名古屋大)

15:55-16:05 (話題提供)「天竜川の現状」 秋山雄司(天竜川漁協)

16:05-16:30 討論

16:30 - 17:00 テーマ

16:30-16:40 (話題提供)「欧米におけるダム堆砂対策」 角 哲也(京大)

16:40-17:00 討論